

会津森林管理署及び南会津支署の取組み



国民の森林・国有林

令和2年11月19日（木）

林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署・南会津支署

目 次

1	会津地域国有林の概要	
	(1) 国有林の面積、機能類型等	P 1
	(2) 会津地区国有林人工林の齡級構成	P 1
	(3) レクリエーションの森	P 2
2	会津森林管理署の取組	
	(1) 森林整備の計画的な推進	P 3
	(2) 治山、土木事業の推進	P 4
	(3) 林業の低コスト化の加速化と花粉対策	P 5
	(4) 野生鳥獣等被害対策の強化	P 7
	(5) 民有林との連携強化	P 9
	(6) 国有林の活用	P 11
	(7) 森林とのふれあいの推進	P 12
3	南会津支署の取組	
	(1) 森林整備の計画的な推進	P 13
	(2) 治山・土木事業の推進	P 14
	(3) 林業成長産業化に向けた取り組み	P 16
	(4) 森林とのふれあいの推進	P 18
	(5) 病虫獣害対策の推進	P 19

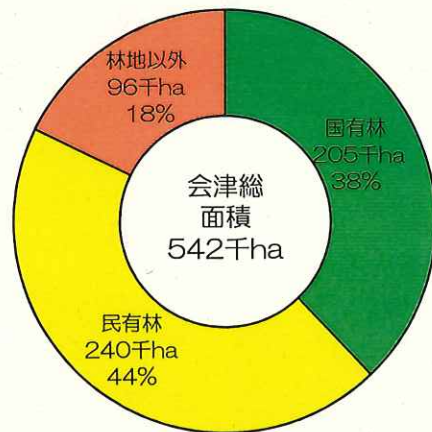
1 会津地域国有林の概要

(1) 国有林の面積、機能類型等

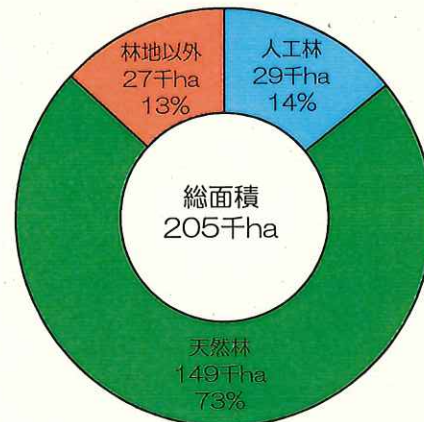
会津地域の国有林は2市11町3村に所在し、管内森林総面積の約38%にあたる205千haを有し、そのうち約14%がスギ、カラマツなどを主体とする人工林で、約73%が、ブナ、ミズナラを主体とする天然林となっています。

また、森林に対する国民の要請が、多様化していることを踏まえ、開かれた「国民の森林」の実現に向け、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「水源涵養タイプ」の4つに区分し、タイプに応じた管理経営を行っています。

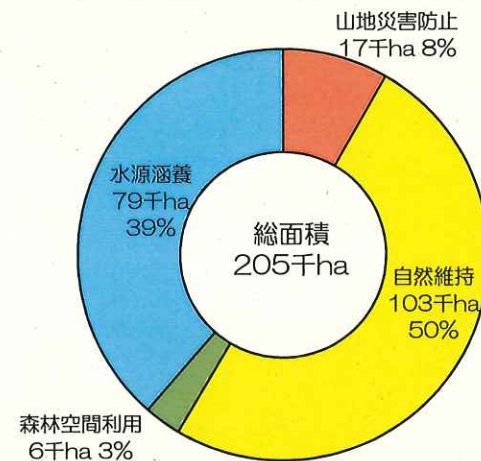
会津地区森林の面積



国有林人天別面積



国有林機能類型別面積



(2) 会津地区国有林人工林の齢級構成

会津地区の人工林の約50%が、主伐期を迎えています。二酸化炭素の吸収源としての作用や国土保全機能を高めるため、間伐を適切に実施するとともに、主伐・再造林により森林の若返りを進めます。

(3) レクリエーションの森

国有林野の豊かな自然を、森林レクリエーションの場として、国民の皆様にご利用いただくため、山岳、溪谷、湖沼など一体となった美しい森林や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に指定しています。

特に優れた自然景観や観光資源としての潜在的魅力のあるレクリエーションの森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93カ所が選ばれ、会津地域の国有林では、以下の6箇所が選定され、地域観光づくりの拠点として取組みが行われています。



【会津東山自然休養林】



【沼沢湖自然観察教育林】



【達沢不動滝風景林】



【裏磐梯デコ平スポーツ林】



【蓋沼自然観察教育林】



【ブナ平自然観察教育林】

2 会津森林管理署の取組

(1) 森林整備の計画的な推進

① 林産物の安定供給

森林吸収源対策として、積極的な間伐や主伐の推進により森林の若返りを進め、計画的な木材供給により、地域材の安定供給に取り組んでいます。

また、国産材の付加価値向上や需要拡大等に取り組む製材工場等の需要者と事前に協定を締結する「安定供給システム販売」や民有林との協調出荷を実施しています。

【安定供給システム販売予定】

材種	材積 (m3)
一般材	3, 200
低質材	4, 300
計	7, 500



【素材生産事業】

② 更新、保育の着実な実施

国土保全、水源涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全に向け、主伐実施後の確実な更新により森林の若返りを推進し、下刈、間伐などの保育を適切に実施しています。

【令和2年度保育等事業予定】

作業種	箇所数(小班別)	面積(ha)
地拵・植付	14	23.58
下刈	31	67.16
保育間伐(本数調整伐含む)	15	65.11



【スギ新植箇所】

(2) 治山、土木事業の推進

ア 治山事業

山腹斜面にある浮石・転石、亀裂の多い岩盤等が、降雨や地震等により転動、滑動、落下し、保全対象に被害を及ぼすおそれのある箇所に対して、落石発生の未然防止のための対策等を実施しています。

【令和2年度治山事業実施箇所】

工種	箇所数	面積
山腹工（固定工）	1ヶ所	1,638㎡
溪間工（谷止工）	2基	992㎡



【山腹工 喜多方市(田付川地区)】

イ 土木事業

森林の適切な整備や林産物の供給等を効率的に行うため、林業専用道及び森林作業道を適切に組合わせた路網整備に取り組んでいます。

施工にあたっては、景観等にも十分に配慮しています。

【令和2年度土木事業実施箇所】

工種	実施箇所	延長(m)
林業専用道新設	1ヶ所	511m



【新設 中の沢林道】

(3) 林業の低コスト化の加速化と花粉対策

① 一貫作業システムの実施

伐採から植栽まで一体的に実施することにより、伐採で使用した機械を、引き続き地拵作業に使用出来ることなどから作業効率の大きな向上が見込まれる「一貫作業システム」を導入しています。

また、伐採から搬出までの作業効率の向上を図る目的で、会津流域林業活性化センターと共催で昭和村の国有林において現地検討会を開催しました。



【生産性向上現地検討会（9月24日）】

② 列状間伐の実施

搬出間伐での伐倒方法は、「列状間伐」を基本として実施しています。これにより伐倒作業時の「かかり木」発生が少なく、危険性の低減や搬出作業が効率的に実施出来ることから生産性の向上が期待出来、積極的に実施しています。



【間伐前】



【間伐後】

③ コンテナ苗と花粉症対策苗への転換

植付時期に幅があり、植付作業の効率化が図られる、コンテナ苗の植栽に取り組んでいます。今年度は、約14.64haに約29,280本のスギのコンテナ苗を植栽しています。

また、花粉症対策として、花粉症対策苗の植栽に昨年度より取組み始めており、今年度は2.00haに約4,000本を植栽しています。



【コンテナ苗】



【コンテナ苗植栽】

④ 下刈の省力化

保育作業における低コスト化及び労働強度の低減のため、平成29年度から、画一的な下刈回数の見直しに取り組んでいます。

植栽木の梢端部が周囲の雑草を上回っていれば、下刈を省略しても、成長に影響は無いとの実証試験結果が得られており昨年度に下刈を省略した箇所において、会津流域林業活性化センターと共催で、現地検討会を開催し成長状況の確認をしています。



【下刈現地検討会（8月27日）】

(4) 野生鳥獣等被害対策の強化

① ニホンジカ被害対策の取組

会津地域でもニホンジカの生息数が増えており、湿原植物の食害が深刻化しており、森林への被害が懸念されます。このため、ニホンジカ生息の実態を把握するため、管内国有林において、3年前からセンサーカメラを設置し、行動把握調査を行っています。

昨年度設置した同一地点での定点観測により、今年度においても多くのカメラにニホンジカが写っており、会津地区において生息が定着している実態があります。

今後、カメラを回収し、情報分析に役立てていきます。



【センサーカメラ】



【カメラに写ったニホンジカ】

② ツキノワグマ被害対策の取組

クマによるスギの剥皮被害を防止するため、管内の国有林において、剥皮被害防止資材の巻き付けに取り組んでいます。（令和2年度：3,87haを実施。）



【剥皮被害状況】



【剥皮被害防止対策資材取付】

③カシノナガキクイムシ防除対策の取組

昭和村の国有林で発生しているナラ枯れ対策の一環として伐倒くん蒸と誘引捕殺を実施しました。

伐倒くん蒸

カシノナガキクイムシによる被害を受けた立木を伐倒、くん蒸し被害の拡大を防ぎます。



誘引捕殺 (おとり丸太)

合成フェロモンによりカシノナガキクイムシをおびき寄せ駆除します。



(5) 民有林との連携強化

① 森林整備協定による民有林連携の取組

喜多方市と「森林整備推進協定」を締結し、民有林・国有林が一体的に路網整備や間伐等を行う「森林共同施業団地」を設定し、林業専用道の開設を行い、民有林・国有林一体となって計画的な森林整備を行っていくこととしています。

○森林整備推進協定の締結

＜協定名＞ 喜多方市森林整備推進協定

＜協定区域＞ 喜多方市全域 38,954ha（民有林 24,035ha、国有林 276ha）

＜連携体制＞ 喜多方市、福島県会津農林事務所、（有）斉藤造林、会津北部森林組合、会津森林管理署

② 民有林と連携した木材の安定供給

民有林と連携して原木の安定供給体制づくりを進めるとともに、民有林における施業の集約化、未利用間伐等の有効利用等の取組をサポートするため、国有林材と民有林材を協調出荷する「民有林と連携した木材の安定供給システム販売」を実施しています。

民有林の所有者は、国有林材と連携することで、新たな販売先の確保や安定した収入の確保が期待できます。

今年度は、会津署・南会津支署の共同物件で、国有林材10,765(内、会津7,500)m³と民有林材500m³を協調出荷することとしています。



③ 福島県農林事務所及び会津流域林業活性化センターとの連携

会津、南会津両農林事務所及び会津流域林業活性化センターと「会津地方民国連携推進会議」を6月と2月の年2回開催し、会津地域の森林・林業・木材産業の一層の発展に向けた情報交換、意見交換を実施するとともに、会津流域林業活性化センターと各種現地検討会を共催し、市町村担当者及び林業事業者と情報共有を図っています。



【現地検討会の開催】



【会津地方民国連携推進会議】

④ 山地災害対応現地検討会の開催

山地災害発生時の対応及び災害復旧時の工種・工法や山腹崩壊箇所の復旧方法について国、県、市町村の治山担当者等を対象とした現地検討会を開催し、山地災害に対し迅速、適確に対応できる知識・技術の習得を図りました。



(6) 国有林の活用

貸付

公益的機能の発揮との調整を図りつつ、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するため、国有林の貸付等を行っています。会津森林管理署での貸付契約件数は689件になっています。



【小水力発電】



【スキー場】



【遊歩道】

(7) 森林とのふれあいの推進

① 小学生への森林・木工作教室等の開催

会津署管内小学校からの要請を受け、間伐体験、森林教室、木工作体験などの森林環境学習を毎年実施しています。本年度は湊小学校、荒海小学校の2校、計35名の生徒が参加しました。



【湊小学校森林環境学習（6月18日）】



【荒海小学校木工教室（11月5日）】

② 県立高校教諭初任者の社会奉仕等体験研修の場を提供

福島県教育庁会津教育事務所による、会津地区に新規採用された県立高等学校教員の初任者研修の一環として、毎年、国有林をフィールドとして提供するとともに、会津森林管理署職員が講師となり、森林環境学習や林業体験を通じ「林業」や「森林環境」についての実践的な研修を実施しています。



【高校教職員初任者研修（6月3日）】

3 南会津支署の取組

(1) 森林整備の計画的な推進

ア 林産物の安定供給

森林吸収源対策の積極的な推進により生産された間伐材等を市場に供給することで地域材の安定供給に取り組んでいます。また、国産材の付加価値向上や需要拡大等に取り組む製材工場や合板工場と事前に協定を締結し、国有林材を安定的に供給する「安定供給システム販売」も実施しています。

令和2年度販売見込み

材種	材積(m ³)
一般材	4,310
低質材	1,940



製品生産事業地

イ 更新・保育の着実な実施

森林の有する公益的機能の維持・増進や地球温暖化防止に向け、主伐後の確実な更新により森林の若返りを推進するとともに、除伐や間伐などの森林整備を適切に実施しています。

令和2年度保育等事業実績

作業種	箇所数(小班別)	面積(ha)
保育間伐	1	2.83
下刈	4	6.54
剥皮防止資材設置	10	32.05



剥皮防止資材設置

(2) 治山・土木事業の推進

ア 治山事業

集中豪雨等によって被災した緊急性の高い荒廃山地等を復旧するとともに保安林整備により森林機能を高め下流域の安全で安心できる暮らしの確保に向け計画的に取り組んでいます。

令和2年度治山事業計画箇所

箇所名	所在	工種
坪入山	南会津町小立岩	谷止工
西根川上流	南会津町宮里	巨石積護岸工
大正本沢	只見町大字叶津	谷止工
湯ノ花	南会津町	本数調整伐



坪入山地区復旧治山工事 コンクリートブロック谷止工

イ 林道・土木事業

多面的な機能を有する森林の適切な整備・保全、効率的な林産物供給等を行うため、林道、林業専用道及び森林作業道を適切に組み合わせた路網整備に取り組んでいます。施工にあたっては景観等への配慮にも努めています。

また、既設の林道等の路面整正や除草などの維持修繕も行いつつ、集中豪雨等で被災した林道等の復旧にも取り組むことで、森林の総合利用の推進や山村の生活環境の整備、地域産業の振興等への貢献を目指しています。



塩之岐林道

(2) 治山・土木事業の推進

ウ 令和元年度台風19号の被害のその後について

昨年10月に日本各地に記録的な豪雨災害（土砂崩れ、河川の決壊、氾濫など）を齎した台風19号により福島県内では浜通りを中心に甚大な被害をもたらしました。

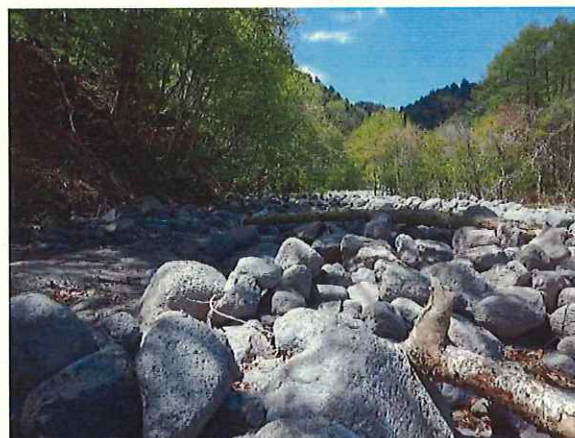
南会津地域においては、南会津町の旧館岩地区と檜枝岐村に降雨が集中、河川が増水し木賊温泉、湯ノ花温泉の温泉施設の損壊・流失や小規模な土砂崩れ、沢からの土砂流出が確認され、道路の損壊、通行止め、林道の洗掘、路肩崩落、路体流失等の被害がありました。

南会津支署管内においては、木賊温泉の上流にあたる西根川からの土砂流出が昨年に続き確認されたことから、西根川上流地区で治山事業による復旧に着手する事とし、当年度は溪床に堆積した巨石を利用した巨石積護岸工の施工と次年度に向けた実施設計調査を実施しました。

地元からの復旧要望強いことから今後も工事と調査を継続して実施し、発生源対策を含めた早期復旧を目指して取り組んでいきます。



崩壊地現況：南会津町提供（R2.8）



巨石積護岸工：施工前



巨石積護岸工：施工後

(3) 林業成長産業化に向けた取組（低コスト化の普及促進・民有林との連携）

ア 列状間伐の実施

高効率で生産性が高い「列状間伐」を実施しています。本事業の実施により、作業時のかかり木の発生が少なくなるなど更なる安全作業が確保できます。

令和2年度は74.9haを整備、間伐木を木材として利用する「搬出間伐」を実施しています。



令和2年度製品生産事業地

イ 南会津産木材市の開催

南会津地域材の地域への安定供給や地域における利用促進、及び地域林業の振興を図るため、地元の木材関連業者を中心とした南会津地方木材安定供給連絡会議（事務局：南会津農林事務所）との連携により「南会津産木材市（だいくら市）」を開催しています。

当支署からは、第20回市（令和2年10月22日開催）に対し、カラマツ 約400m³を出材しました。



第20回南会津産木材市

ウ 南会津林業成長産業化推進会議（林業成長産業化地域創出モデル事業）の推進

平成29年度予算として林野庁が公募した林業成長産業化地域創出モデル事業に関し、提案から実施運営まで、南会津町（農林課）、南会津森林組合、南会津農林事務所、南会津森林ネットワーク（NPO）及びNPO加盟林業事業体と連携して取り組んでいます。

令和2年度も広葉樹材の生産性向上のために開催された造材研修会や低コスト再造林の森林技術者育成のために開催されたコンテナ苗植栽研修会に参加しました。



広葉樹造材研修会



コンテナ苗植栽研修会

(4) 森林とのふれあいの推進

ア 体験林業の実施

森林の豊かさや自然環境の大切さを学んでもらうことを目的に、管内の小中学校から高等学校まで、毎年各種林業体験を行っています。

イ 木工教室等の開催

地元の小中学校や地域の文化祭等において、木の輪切りや枝、木の实などを使って様々な作品を作ってもらうなど森林に親しんでもらうための木工教室を毎年開催しています。

※今年は新型コロナウイルスの影響により体験林業の依頼は減少し、地域の文化祭は中止となりましたが、地元高校での林業講話や丸太切り体験、地元小中学校での木工教室は実施しました。



木工教室（伊南小学校）



丸太切り体験（南会津高校）

(5) 病虫獣害対策の推進

ア 尾瀬大江湿原等におけるシカ対策の実施

ニッコウキスゲ等貴重な植生を保護するため、平成26年度から大江湿原周辺に約3.5kmのシカ防護柵を設置しており、南会津尾瀬二ホンシカ対策協議会（事務局：南会津地方振興局）による巡視や罠の設置活動などと連携した取り組みを行っています。

シカ柵設置は毎年ボランティアの協力を得ながら実施していますが、今年は関係機関の職員のみで実施しました。

また、南会津町館岩地域においても地元猟友会と連携してシカの捕獲に取り組み、今後も取組を拡大していくこととしています。



シカ柵設置



シカ柵撤去

イ カシノナガキクイムシ防除対策の実施

只見町を中心に発生しているナラ枯れ対策の一環としてカシノナガキクイムシ（カシナガ）の誘引捕殺を実施しました（山形県森林研究研修センターの協力による）。ナラ枯れ被害の拡大と只見町のユネスコエコパーク政策への貢献に向け、来年度以降も継続して取り組んでいくこととしています。



おとり丸太の効果判定